

第41回2025フライボール競技大会

(理事長賞 授与)

開催日：2025年11月2日(日)(雨天決行)

受付時間：午前7時00分～8時00分

競技開始：午前10時00分(予定)

(出場順は出陳目録掲載番号順とします)

※出陳目録には、当該犬のデータの他に所有者名並びに所在地(都道府県・市区)、指導手名が掲載されます。

※オンラインで成績発表をする場合、犬種・犬名・登録番号・所有者名・指導手名・タイムが記載されます。

出陳資格：①：チーム競技及びダブルス競技の代表者は、本会のクラブ会員とします。

②：ハンドラーは、本会のクラブ会員並びに所有者の家族とします。

③：出陳犬は、本会登録犬(アペンディクス登録犬を含む)及び本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬とします。

④：チーム競技、ダブルス競技及び個人競技の出陳犬は、クラブ会員所有の生後12カ月1日以上とします。

⑤：アトラクションの出陳犬は、クラブ会員所有の生後9カ月1日以上とします。ただし、シニア競技出陳犬は、クラブ会員所有の生後8歳1日以上とします。

⑥：伝染病・皮膚病など健康上の危惧がある犬は、出陳できません。

⑦：跛行の犬、咬癖のある犬は、出陳できません。

⑧：発情犬は、個人競技及びアトラクションに出陳することができます。受付にて必ずご申告ください。

その場合、当該カテゴリーの最後に競技することとします。

重複出陳：①：出陳犬は、チーム、ダブルス、個人競技のいずれの組み合わせでも重複出陳することができます。

②：出陳犬は、アトラクション内であれば、いずれの組み合わせでも重複出陳することができます。

③：アトラクション出陳犬は、個人競技及びチーム競技、ダブルス競技に重複出陳することはできません。

◎競技の進行状況により、スケジュールの変更がありますのでご了承ください。

審査員長：前田 清文

＜会場＞ 埼玉県比企郡・吉見総合運動公園

会場図は4ページをご確認ください。

＜出陳料金＞

【チーム競技】
1チーム 10,000円

【ダブルス競技】
1チーム 7,000円

【個人競技】
1頭 6,000円

【アトラクション】
ビギナー1・ビギナー2・ビギナートネル・シニア
1頭 2,000円

ビギナーダブルス
1チーム 4,000円

＜会場整備費について＞

会場整備費として、出陳お申し込み
1日1頭につき1,000円を
申し受けます。

恐れ入りますが、出陳料を送金される際に加算してお申し込みください。

※会場整備費については、別紙の〈会場整備費送金表〉をご確認ください。

申込開始日：9月8日(月)

申込締切日：9月26日(金) 本部郵便必着

(競技会当日会場及びFAXでの受付はいたしません。)

出陳料の送金方法について

出陳料は現金書留または郵便振替にてご送金ください。

※郵便振替をご利用の場合は、郵便局に備え付けの振込用紙で、備考欄に「会員番号」及び「FB競技大会出陳料」とご記入の上、下記口座へお振込ください。なお、恐れ入りますが、その際の振込手数料はご負担下さい。申込書は普通郵便等で別途ご郵送ください。

◎郵便振替口座：口座記号 00120-4 口座番号 143550 加入者名 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ

申込所：一般社団法人ジャパンケネルクラブ 技術事業課 (Tel 03-3251-1656)

〒101-8552 東京都千代田区神田須田町1-5

主催 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ (JKC)

協賛 中央ケネル事業協同組合連合会

実 施 要 領

1. 出陳規定

- ① チーム競技及びダブルス競技の代表者は、本会のクラブ会員とします。
- ② ハンドラーは、本会のクラブ会員並びに所有者の家族とします。
- ③ 出陳犬は、本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）及び本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬とします。
- ④ チーム競技、ダブルス競技及び個人競技の出陳犬は、クラブ会員所有の生後12カ月1日以上とします。
- ⑤ アトラクションの出陳犬は、クラブ会員所有の生後9カ月1日以上とします。
- ⑥ 出陳犬は、本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）及び本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬とします。ただし、アペンディクス登録犬、本会の非公認犬種、本会の非公認団体登録犬、交雑犬はフライボールチャンピオン資格犬にはなりませんので、フライボールチャンピオン（FB.CH.）ポイントカードは付与されません。
- ⑦ 伝染病・皮膚病など健康上の危惧がある犬、跛行の犬、咬癖のある犬は出陳することはできません。
- ⑧ 発情した犬は、個人競技及びアトラクションに限って出陳することができますが、当該カテゴリーの最後に競技することとします。
- ⑨ 出陳犬の首輪は競技中に危険が及ばないことを原則とし、緩んだ状態が維持できる平首輪（フラット・カラー）または胴輪（ハーネス）とします。
- ⑩ 会場内における事故の責任は、一切所有者といたします。（駐車場での事故及びトラブル。出陳犬等の怪我。）

2. 競技用具

原則として、全て本会指定の用具とします。

- ① ボックスに関しましては、本会でも用意いたします。
ボールの飛行曲線が、ボックス上部のソフトカバーに触れることのないように調整してください。
- ② ボールは原則として、空気の抜けていない正規のテニスボールとします。ただし、本犬のサイズを考慮し、危険性のない弾むボールで審査員長が認めた場合は使用することができます。
- ③ ハードルの高さ（上部カバーの厚みは含まない）は、スモール20cm、ミディアム30cm、ラージ40cmとします。
- ④ チーム競技及びダブルス競技において、ハードルの高さは当該チームの中で最も体高の低い犬のカテゴリーの高さとします。

3. 競技種目

チーム競技、ダブルス競技、個人競技、アトラクションを行います。

<チーム>

1チームは4名のハンドラーと4頭の犬とし、補欠の犬を1頭以上、補欠のハンドラーを1名以上用意することができます。

<ダブルス>

1チームは2名のハンドラーと2頭の犬とし、補欠の犬を1頭以上、補欠のハンドラーを1名以上用意することができます。

<個人>

- ① 1名のハンドラーと1頭の犬とします。
- ② 出陳犬の体高により次の3つのカテゴリーに分割します。
 - (1) スモール（体高35cm未満の犬）
 - (2) ミディアム（体高35cm以上43cm未満の犬）
 - (3) ラージ（体高43cm以上の犬）

<アトラクション>

(ビギナー1)

- ① 4台のハードルとボックスを使用します。
- ② ハンドラーは、紐付きで犬とレーンを伴走します。
- ③ その他の要領は、個人競技に準じます。

(ビギナー2)

- ① 4台のハードルとボックスを使用します。
- ② ハンドラーは、紐無しで犬とレーンを伴走します。
- ③ その他の要領は、個人競技に準じます。

(ビギナートンネル) (トンネルの長さ2m：図1参照)

- ① 2台のハードルとトンネル(2m)とボックスを使用します。
- ② ハンドラーは、紐無しで犬とレーンを伴走します。
- ③ その他の要領は、個人競技に準じます。

(シニア)

- ① 当該年齢を生後8歳1日以上とします。
- ② 4台のハードルとボックスを使用します。
- ③ 各カテゴリーのハードルの高さはスモール10cm、ミディアム20cm、ラージ30cmとします。

(ビギナーダブルス)

- ① 4台のハードルとボックスを使用します。
- ② ハンドラーは、紐無しで犬とレーンを伴走します。
- ③ その他の要領は、ダブルス競技に準じます。

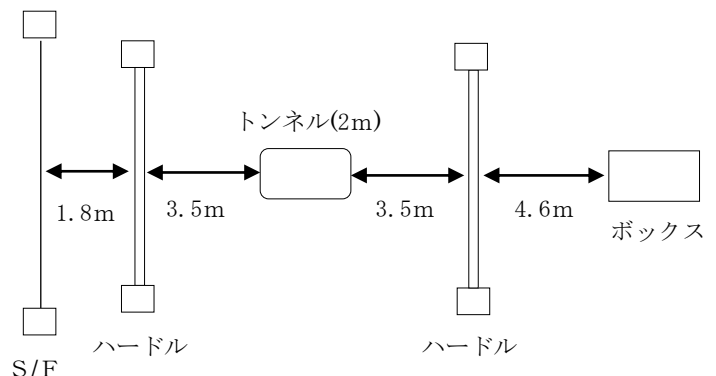
4. 競 技

競技は2レーンで2チーム（2頭）が行います。

<チーム/ダブルス>

- ① 2チーム以上の出陳申込みがあった場合に行われます。

(図1) ビギナートンネル



- ②参加チーム数が3チーム以下の場合は、リーグ戦（総当り）とし、4チーム以上の場合は、トーナメント戦（勝ち上がり）とします。
- ③組み合わせ及び使用するレーンは抽選とします。
- ④1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。
- ⑤トーナメント戦において、3席及び4席は、決定戦によって決定します。5席は当該席次が対象となるヒートのタイムによって決定します。
- ⑥ヒートを3回行い、2回勝ったチームが当該競技の勝利チームとなります。
- ⑦リーグ戦で勝敗が同率の場合は、ヒート勝率によって決定します。ヒート勝率も同率の場合は、ヒートのベストタイムによって決定します。

<個人>

- ①8頭以上の出陳申込みがあった場合に行われます。
- ②ヒートで使用するレーンは予め本部にて決定します。
- ③1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。
- ④全てヒートを3回連続行い、その内最も速いタイムを当該犬のベストタイムとします。
- ⑤スモール・ミディアム・ラージの各カテゴリー毎にベストタイムによって席次を決定します。
- ⑥同タイムの場合は、犬の年齢が若い方を上位とします。

5. ヒート

<チーム/ダブルス>

- ①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。
- ②スタートの合図の前に犬の身体の一部がスタート・フィニッシュライン（2本のスタートフィニッシュポールを結ぶ架空の線）を越えた場合は、再度スタートとなります。
ただし、二度続いた場合は、当該犬はフライングとなります。
- ③犬は静止した体勢、またはランニングの体勢からスタートすることができます。
- ④犬は4つのハードルを跳び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを咥えたまま4つのハードルを跳び越え、戻ってくるとします。
- ⑤走行中の犬の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを越えた時、次の犬がスタートすることができます。
万一、これに違反した場合、当該犬はフライングとなります。
- ⑥走行中の犬が、ハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮定して跳び越えていれば失敗とはなりません。ただし、ヘルパーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。
- ⑦チーム競技においては4頭目の犬（又は、再度走らなければならなかった犬）、ダブルス競技においては2頭目の犬（又は、再度走らなければならなかった犬）の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを先に通過したチームが、そのヒートの勝者となります。
- ⑧ヒートの終了は、チーム競技においては両チームの4頭目の犬（又は、再度走らなければならなかった犬）、ダブルス競技においては両チームの2頭目の犬（又は、再度走らなければならなかった犬）がフィニッシュした時とします。

<個人>

- ①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。
- ②スタートの合図の前に犬の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを越えた場合は、再度スタートとなります。ただし、二度続いた場合は当該ヒートは無効と判断されます。
- ③犬は静止した体勢、又はランニングの体勢からスタートすることができます。
- ④犬は4つのハードルを跳び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを咥えたまま4つのハードルを跳び越え、戻ってくるとします。
- ⑤走行中の犬が、ハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮定して跳び越えていれば失敗とはなりません。ただし、ヘルパーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。
- ⑥犬の身体の一部が、スタート・フィニッシュラインを通過した場合にゴールとします。
- ⑦妨害により、当該ヒートのタイムが計測できなかった場合は、再度当該ヒート及び残りのヒートをダミー犬と行うこととします。

6. 違反

チーム競技及びダブルス競技において、出陳犬が次の何れかに該当した場合、当該犬はチームの最後尾で再度走らなければなりません。

- ①出陳犬がフライングと判断された場合。
- ②出陳犬がいずれかのハードルを跳び越えなかった場合。
- ③出陳犬がボックスのペダルを踏まなかった場合。
- ④出陳犬がボールを咥えずにフィニッシュラインを通過した場合。
- ⑤ハンドラーの足がスタート・フィニッシュラインを越えた場合。ただし、ハードルを立て直す場合又はボールを拾う場合を除きます。
- ⑥ハンドラー又はボックスローダーによるアシストがなされた場合。

個人競技において、出陳犬が次の何れかに該当した場合、そのヒートは無効となります。

- ①出陳犬がフライングと判断された場合。
- ②出陳犬がいずれかのハードルを跳び越えなかった場合。
- ③出陳犬がボックスのペダルを踏まなかった場合。
- ④出陳犬がボールを咥えずにフィニッシュラインを通過した場合。
- ⑤ハンドラーの足がスタート・フィニッシュラインを越えた場合。ただし、ハードルを立て直す場合又はボールを拾う場合を除きます。
- ⑥ハンドラー又はボックスローダーによるアシストがなされた場合。

7. ヒートの中止

競技中、メンバー又は出陳犬が次の何れかに該当した場合、当該チーム又は当該犬のヒートは中止となります。

- ①出陳犬が競技に意欲を見せない場合。
- ②出陳犬がレーンに排泄した場合。
- ③出陳犬が逸走した場合。
- ④出陳犬又はチームのメンバーが、一方の出陳犬又はチームを妨害した場合。
ただし、出陳犬がこぼれたボールを追うことは妨害とみなされません。
- ⑤音の鳴るモチベーターを使った場合。

⑥メインジャッジが中止と判断した場合。

8. 失 格

次の何れかに該当した場合、当該チーム又は当該犬は失格となります。

- ①出陳犬又はチームのメンバーによる妨害が重なった場合。
- ②リング内でおやつを使用した場合。
- ③メインジャッジが失格と判断した場合。

9. 規 制

ハンドラーは次の行為を行ってはなりません。

- ①審査員に対する暴力行為及び暴言。
- ②出陳犬に対する暴力行為。
- ③審査中の関係者に対する抗議行為。

10. 成 績

＜特別表彰＞

次の出陳犬に理事長賞を授与します。

- ①チーム競技の1席。
- ②個人競技の各カテゴリー1席犬の中から1頭。

＜チーム／ダブルス＞

1席～5席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

＜個 人＞

スモール・ミディアム・ラージの各カテゴリー毎の1席～10席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

＜アトラクション＞

- ①ビギナー1・ビギナー2・ビギナートンネル・シニアそれぞれの1席～10席までを入賞とし、ロゼットを付与します。
- ②ビギナーダブルス1席～5席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

11. ボックスローダー・ヘルパー

＜ボックスローダー＞

- ①チーム競技・ダブルス競技並びに個人競技ともボックスローダーは、原則として当該チーム及び当該出陳者が用意します。
- ②ボックスローダーは、ボックスの後ろに位置し、ボックス後部板の末端に両足を乗せている、もしくは触れている状態で直立しボックスにボールをセットする時及び転がったボールを回収する時を除き、手を後ろに組んでいなければなりません。
- ③ボックスローダーは、声援により犬を勇気づけることができます。
- ④ボックスローダーは、審査員によりそのヒートが終了したことが宣言されるまで、所定の位置を離れてはいけません。

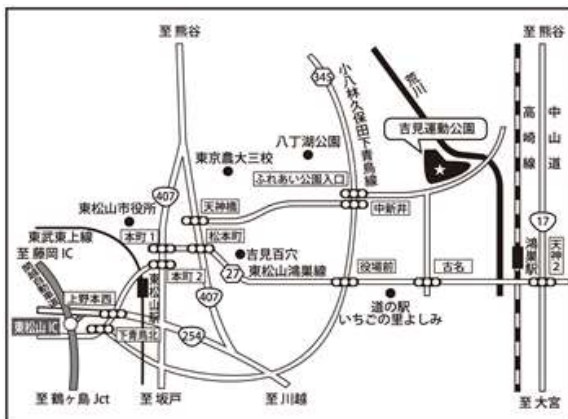
＜ヘルパー＞

各競技においては、ボールの回収及び倒れたハードルの設置を行うヘルパーを用意することができます。

12. フライボールチャンピオン（F B. C H）登録制度

- (1) チーム競技で1席となったチーム4頭及びダブルス競技で1席となったチーム2頭（ただし、決勝競技において2ヒート勝利することが条件となります。）にF B. C Hポイント7 Pが付与されます。
また、個人競技のスモール・ミディアム・ラージ各カテゴリーのベストタイムの犬及びベストタイムに2. 0秒加えたタイム以内で完走した犬にF B. C Hポイント5 Pが交付されます。
- (2) F B. C Hポイントは、一競技会において1競技分のみ有効となります。
- (3) フライボールチャンピオン（F B. C H）資格の取得と登録
 - ①F B. C H. Pを20ポイント以上取得した犬に与えられます。
 - ②F B. C H取得に際しては、C D II以上（G D、I G P、O B、B Hを含む）の訓練試験資格の登録をしなければなりません。
加えて、DNA登録も必要となります。
- (4) アペンディクス登録犬・本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬にはF B. C Hは付与されません。
交付されたF B. C Hは無効となります。

＜会場図＞埼玉県比企郡・吉見総合運動公園



※会場（公園）内で犬を連れる際は必ずリードの装着をしてください。

※会場（公園）内は禁煙となります。

※会場内での以下の行為を禁じます。

- 空ビン・空カン・ゴミ等の放棄。
- 樹木・草花・野草の採取、その他施設の損傷。
- 競技会場内の火器類（コンロ、バーベキュー等）及び電気器具（電気コンロ、ドライヤー、電気ストーブ等）の使用、並びに駐車場内での火器類の使用